

## 14. トルコギキョウ「ボレロホワイト」の秋季における大苗定植は在圃期間を短縮する

### 1. 背景とねらい

トルコギキョウは、秋季に定植して冬～春に収穫する作型では在圃期間が長くなることが問題となっている。一般に本葉が2節展開した苗を圃場に定植するが、本葉が3, 4節展開した大苗を定植することで在圃期間を短縮できると考えられる。本成果情報では、「ボレロホワイト」を用いて同一播種日で定植日が異なる場合、または播種日は異なるが同一定植日の場合について、定植時の苗の大きさが生育や切り花の形質に及ぼす影響を明らかにする。

### 2. 成果の内容

- 1) 定植時の苗の最大葉身長は、同一播種日で定植日が異なる場合（以下、同一播種日）、播種日は異なるが同一定植日の場合（以下、同一定植日）とも、育苗週数が多いほど大きくなる。本葉が展開した節数は、いずれの場合も4, 5, 6および7週育苗でそれぞれ2, 2, 3および4となる（表1, 2）。7週育苗は、定植時に全ての株が抽苔している（データ省略）。
- 2) 出蕾節数は、同一播種日、同一定植日の場合とも、4および5週育苗と比較して7週育苗で有意に小さくなる（表3, 4）。
- 3) 栽培日数は、同一播種日の場合には172～180日となり、育苗週数による差はみられない（表3）。しかし、同一定植日の場合には、4週育苗の188日と比較して7週育苗が160日と少なくなり、2週以上育苗週数が異なると有意な差がみられる（表4）。
- 4) 在圃日数は、同一播種日の場合には4週育苗の148日と比較して7週育苗が131日と有意に少なくなる（表3）。同一定植日の場合には、4週育苗の160日と比較して7週育苗が111日と少なくなり、育苗週数が多いほど有意に少なくなる（表4）。
- 5) 切り花の形質は、同一播種日の場合では育苗週数が多いほど切り花長、切り花重および有効小花数ともに小さい傾向となる（表3）。同一定植日の場合では、切り花長、切り花重で育苗週数が多いほど有意に小さく、有効小花数も少ない傾向となる（表4）。

### 3. 利用上の留意点

- 1) 「ボレロホワイト」での結果であり、他品種を用いた大苗定植による在圃期間の短縮効果については、今後明らかにする必要がある。
- 2) 秋季に定植し、18時間日長、最低気温15°Cで管理したプラスチックハウスで栽培した結果であり、異なる環境条件および他作型における大苗定植による在圃期間の短縮効果および切り花の形質への影響については、今後明らかにする必要がある。
- 3) 吸水種子の低温処理を行った種子を288穴セル成型トレイに播種し、なりゆきの温度条件で育苗を行った結果である。吸水種子の低温処理および育苗は、近畿中国四国地域における新技術第5号に記載した方法に準じている。

(栽培技術研究部)

#### 4. 具体的データ

表1 同一播種日における育苗週数が  
苗の形質に及ぼす影響

処理区 (育苗週数)	最大 葉身長 (mm)	本葉展開 葉節数
4	15.1 ± 0.2 <sup>z</sup>	2
5	22.5 ± 0.4	2
6	32.2 ± 0.4	3
7	42.6 ± 0.9	4

<sup>z</sup>数値はMEAN±SDを示す

吸水種子低温処理：2008年7月25日～8月29日，10℃，暗黒条件

播種日：8月29日

定植日：9月26日（4週育苗），10月3日（5週育苗），

10月10日（6週育苗），10月17日（7週育苗）

表2 同一定植日における育苗週数が  
苗の形質に及ぼす影響

処理区 (育苗週数)	最大 葉身長 (mm)	本葉展開 葉節数
4	9.5 ± 0.1 <sup>z</sup>	2
5	22.5 ± 0.4	2
6	37.6 ± 0.6	3
7	54.3 ± 4.4	4

<sup>z</sup>第1表に準じる

吸水種子低温処理：播種前に35日間，10℃，暗黒条件

播種日：8月15日（7週育苗），8月22日（6週育苗），

8月29日（5週育苗），9月5日（4週育苗）

定植日：10月3日

表3 同一播種日における育苗週数が開花と切り花の形質に及ぼす影響

処理区 (育苗週数)	出蕾 節数	開花日 (月/日)	栽培日数 <sup>z</sup>	在圃日数 <sup>y</sup>	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	有効 小花数 <sup>x</sup>
4	13.8 c <sup>w</sup>	2/20	176 a	148 b	88 c	99 b	5.7 b
5	13.0 b	2/17	172 a	137 ab	85 bc	84 ab	5.5 ab
6	12.7 ab	2/23	178 a	136 ab	79 ab	77 a	5.2 ab
7	12.5 a	2/25	180 a	131 a	74 a	74 a	4.5 a

<sup>z</sup>播種から開花までの日数，

<sup>y</sup>定植から開花までの日数

<sup>x</sup>開花した小花数と萼基部から花弁先端部までの長さが1.5cm以上に発達した2～3次小花数の和

<sup>w</sup>同一カラム内の同一英小文字間にはTukeyの多重検定により有意な差が存在しない( $n=3, p>0.05$ )

表4 同一定植日における育苗週数が開花と切り花の形質に及ぼす影響

処理区 (育苗週数)	出蕾 節数	開花日 (月/日)	栽培日数 <sup>z</sup>	在圃日数 <sup>y</sup>	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	有効 小花数 <sup>x</sup>
4	14.7 d <sup>w</sup>	3/11	188 c	160 d	97 d	115 d	7.2 c
5	13.0 c	2/17	172 b	137 c	85 c	84 c	5.5 b
6	12.1 b	2/ 2	165 ab	123 b	75 b	71 b	5.2 ab
7	11.7 a	1/21	160 a	111 a	68 a	56 a	4.0 a

<sup>z,y,x,w</sup> 第3表に準じる